



平成29年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年5月9日

上場会社名 株式会社 情報企画

上場取引所 東

コード番号 3712 URL <http://www.jyohokikaku.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 仁史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松岡 勇佑

TEL 06-6265-8530

四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日

配当支払開始予定日

平成29年6月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第2四半期の業績(平成28年10月1日～平成29年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第2四半期	1,331	7.4	488	1.6	488	1.6	331	4.4
28年9月期第2四半期	1,438	17.7	480	32.5	480	41.1	317	49.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第2四半期	98.85	
28年9月期第2四半期	94.66	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第2四半期	3,628	2,837	78.2
28年9月期	3,598	2,590	72.0

(参考)自己資本 29年9月期第2四半期 2,837百万円 28年9月期 2,590百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期		25.00		25.00	50.00
29年9月期		25.00			
29年9月期(予想)				25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	8.5	600	23.8	600	23.9	400	24.9	119.41

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期2Q	4,090,000 株	28年9月期	4,090,000 株
期末自己株式数	29年9月期2Q	740,074 株	28年9月期	740,074 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期2Q	3,349,926 株	28年9月期2Q	3,349,926 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
追加情報	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成28年10月1日から平成29年3月31日の6ヶ月間）におけるわが国経済については、国際情勢を反映し株価や為替などの金融市場は不安定な状況ですが、生産や個人消費は回復基調が続いており景気は安定した状況にあると見られます。しかしながら当社の主要な販売先である金融機関におきましては、低金利政策から本業は厳しく、設備投資に対して慎重な姿勢が見られます。

このように当社にとって厳しい環境下にあつて、「システム事業」につきましては、当第2四半期累計期間の売上高は、前期に大型案件の売上高を計上した反動もあり、システム開発に係る「システムインテグレーション部門」は前年同期比減収となり、システムのメンテナンスを行う「システムサポート部門」は前年同期並みとなりました。しかしながら営業利益は、「システムインテグレーション部門」での大型案件開発に係る材料費の計上がなくなったことやその開発に係る外注費も削減され、その費用削減効果が大きく前年同期比増益となりました。

「不動産賃貸事業」につきましては、賃貸収入の売上高は前年同期比増収となり、営業利益も前年同期比増益となっております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,331,940千円（前年同期比7.4%減）営業利益は488,160千円（同1.6%増）、経常利益は488,478千円（同1.6%増）、四半期純利益は331,141千円（同4.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①システム事業

「システムインテグレーション部門」

主要なシステムである「担保不動産評価管理システム」は前期の大手金融機関からの大型案件による売上高計上の反動から減収となりました。しかしながら「自己査定支援システム」や「決算書リーディングシステム」の売上高水準は依然高く、地域金融機関が金融庁から提出を求められているベンチマークを集計する新システムである「ベンチマーク集計システム」や主要なシステムである「融資稟議支援システム」は複数の信用金庫や信組情報サービス株式会社（SKC）宛に売上高を計上し大きく貢献しました。

以上の結果、システムインテグレーション部門の売上高は683,839千円（前年同期比12.6%減）、セグメント内の売上高構成比は53.6%となりました。

「システムサポート部門」

メンテナンスの売上高はこれまでのシステム導入の効果が大きく前年同期並みとなり、システムサポート部門の売上高は592,317千円（前年同期比1.5%減）、セグメント内の売上高構成比は46.4%となりました。

以上の結果、システム事業の売上高は1,276,156千円（前年同期比7.8%減）、セグメント利益は462,764千円（同1.2%増）となりました。

②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、賃貸マンション1棟、立体駐車場1棟、賃貸オフィス1棟及び賃貸店舗1件の計4物件であり、当第2四半期累計期間の売上高は、賃貸収入55,783千円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益は25,396千円（同11.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ66,115千円増加し、2,072,335千円となりました。これは主に現金及び預金の増加と売掛金並びに仕掛品の減少によるものです。固定資産は前事業年度末に比べ35,710千円減少し、1,556,589千円となりました。これは主に減価償却費の計上と繰延税金資産の減少によるものです。この結果、資産合計は前事業年度末に比べ30,404千円増加し、3,628,925千円となりました。

(負債)

負債につきましては、前事業年度末に比べ216,988千円減少し、791,352千円となりました。これは主に前受収益並びに役員退職慰労引当金の減少によるものです。

(純資産)

純資産につきましては、前事業年度末に比べ247,393千円増加し、2,837,572千円となりました。これは繰越利益剰余金の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ202,321千円増加し、1,596,121千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は292,110千円（前年同期比38.5%増）となりました。これは主に税引前四半期純利益488,651千円、売上債権の減少93,114千円により資金が増加した一方で、前受収益の減少167,081千円、法人税等の支払額139,196千円による資金の減少があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は5,996千円（前年同期比14.5%減）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出2,221千円及び無形固定資産の取得による支出4,839千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は83,792千円（前年同期比25.0%増）となりました。これは配当金の支払によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

国際情勢次第では不安定な株式相場や円高など、景気の悪化が懸念されますが、消費や生産などは当面堅調に推移すると考えられます。しかし、当社の主要な販売先である金融機関の取り巻く環境は依然厳しいと見られます。

このような状況の中、当社といたしましては、主要顧客である金融機関の様々なニーズを捉えて、受注に結び付けるきめ細かい営業を行っていく考えです。

平成29年9月期におきましては、前期の大型案件の反動もあり、売上高2,300,000千円（前年同期比8.5%減）、営業利益600,000千円（同23.8%減）、経常利益600,000千円（同23.9%減）、当期純利益400,000千円（同24.9%減）と予想しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,393,799	1,596,121
売掛金	509,775	416,660
仕掛品	55,971	11,000
繰延税金資産	31,767	30,963
未収収益	3,780	7,422
その他	11,126	10,167
流動資産合計	2,006,220	2,072,335
固定資産		
有形固定資産		
建物	787,505	786,906
減価償却累計額	△139,162	△154,805
建物(純額)	648,342	632,100
構築物	4,205	4,205
減価償却累計額	△2,008	△2,208
構築物(純額)	2,197	1,997
機械及び装置	75,054	75,054
減価償却累計額	△54,637	△58,046
機械及び装置(純額)	20,417	17,007
工具、器具及び備品	62,484	61,099
減価償却累計額	△55,339	△53,668
工具、器具及び備品(純額)	7,144	7,431
土地	807,318	807,318
有形固定資産合計	1,485,421	1,465,855
無形固定資産		
ソフトウェア	14,494	15,942
その他	1,116	1,116
無形固定資産合計	15,610	17,058
投資その他の資産		
関係会社株式	10,000	10,000
繰延税金資産	23,667	6,625
会員権	12,850	12,650
差入保証金	44,399	44,399
その他	350	—
投資その他の資産合計	91,267	73,674
固定資産合計	1,592,299	1,556,589
資産合計	3,598,520	3,628,925

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	45,364	59,971
未払金	78,383	75,542
未払消費税等	51,923	34,296
未払法人税等	147,537	151,160
前受収益	308,673	141,592
賞与引当金	69,038	67,826
製品保証引当金	1,075	4,281
その他	9,680	7,458
流動負債合計	711,677	542,129
固定負債		
役員退職慰労引当金	246,979	200,660
長期預り保証金	49,683	48,563
固定負債合計	296,663	249,223
負債合計	1,008,341	791,352
純資産の部		
株主資本		
資本金	326,625	326,625
資本剰余金		
資本準備金	365,175	365,175
資本剰余金合計	365,175	365,175
利益剰余金		
利益準備金	1,816	1,816
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,660,513	2,907,906
利益剰余金合計	2,662,329	2,909,722
自己株式	△763,950	△763,950
株主資本合計	2,590,179	2,837,572
純資産合計	2,590,179	2,837,572
負債純資産合計	3,598,520	3,628,925

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
売上高	1,438,628	1,331,940
売上原価	682,173	539,552
売上総利益	756,454	792,387
販売費及び一般管理費	276,192	304,226
営業利益	480,262	488,160
営業外収益		
受取利息	192	135
未払配当金除斥益	100	166
その他	16	16
営業外収益合計	309	318
経常利益	480,571	488,478
特別利益		
ゴルフ会員権償還益	—	264
特別利益合計	—	264
特別損失		
固定資産除売却損	—	90
特別損失合計	—	90
税引前四半期純利益	480,571	488,651
法人税、住民税及び事業税	159,212	139,664
法人税等調整額	4,242	17,846
法人税等合計	163,454	157,510
四半期純利益	317,116	331,141

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	480,571	488,651
減価償却費	26,606	25,055
賞与引当金の増減額(△は減少)	508	△1,212
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△7,417	3,206
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,236	△46,319
受取利息及び受取配当金	△192	△135
有形固定資産除売却損益(△は益)	—	90
ゴルフ会員権償還益	—	△264
売上債権の増減額(△は増加)	24,068	93,114
たな卸資産の増減額(△は増加)	34,249	44,970
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,212	△2,932
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,488	14,607
未払金の増減額(△は減少)	△1,343	△2,764
未払消費税等の増減額(△は減少)	△7,486	△17,626
前受収益の増減額(△は減少)	△162,599	△167,081
その他の流動負債の増減額(△は減少)	7,327	932
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△1,188	△1,120
小計	378,641	431,172
利息及び配当金の受取額	192	135
法人税等の支払額	△167,852	△139,196
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,981	292,110
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,716	△2,221
無形固定資産の取得による支出	△2,900	△4,839
ゴルフ会員権の償還による収入	—	464
従業員に対する貸付金の回収による収入	600	600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,016	△5,996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△67,042	△83,792
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,042	△83,792
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	136,921	202,321
現金及び現金同等物の期首残高	1,023,200	1,393,799
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,160,121	1,596,121

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,383,848	54,780	1,438,628
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,383,848	54,780	1,438,628
セグメント利益	457,386	22,875	480,262

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成28年10月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	システム事業	不動産賃貸事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,276,156	55,783	1,331,940
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	1,276,156	55,783	1,331,940
セグメント利益	462,764	25,396	488,160

(注) 各報告セグメントにおける利益は、営業利益を使用しております。